



まとめ

令和3年度准組合員アンケート

准組合員のJA利用活性化に向けて、各事業や取り組みに対するご利用状況や期待感を把握するため、75歳までの准組合員500人を対象にアンケートを実施しました。

准組合員調査の結果

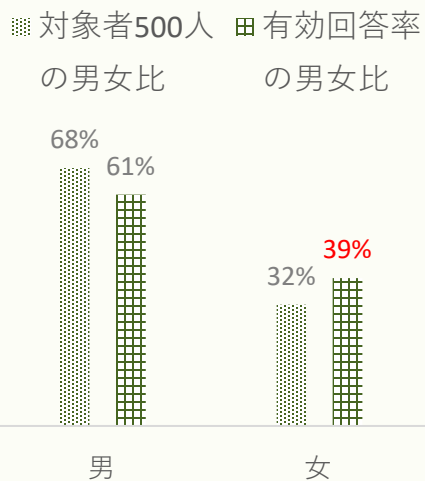
回答状況

アンケート回収状況 **217/500** (人)

有効回答数 **197/215** (人)

男女比

アンケート対象者男女比は、男性**68%**、女性**32%**だったことから、女性の回答割合が高かった

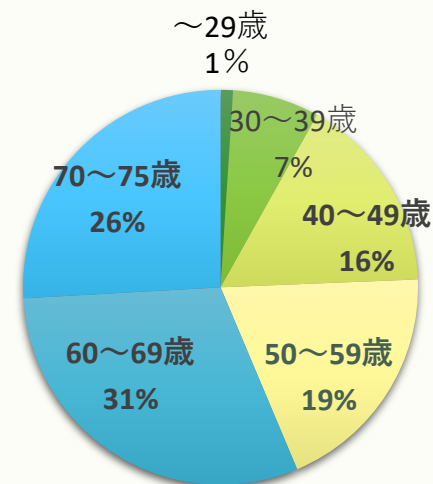


年齢層

60～75歳が約**6割**

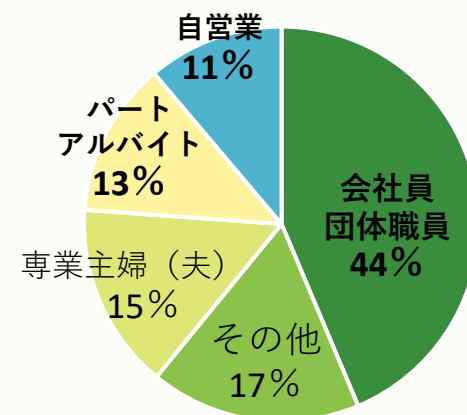
40～59歳が**3割強**

39歳未満は**1割以下**



職業

働いている人が**7割弱 (68%)**

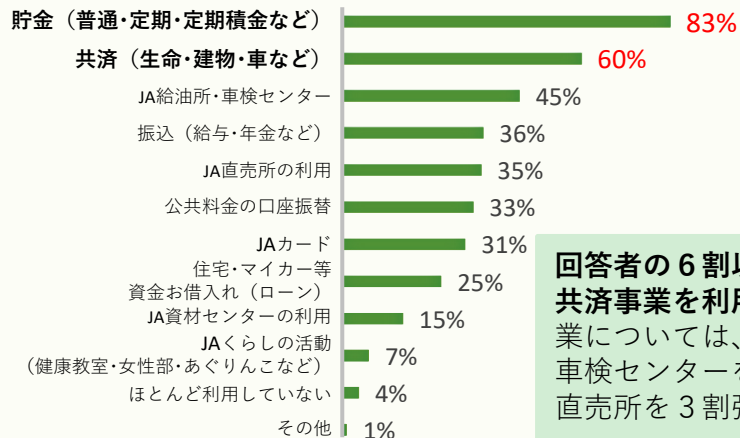


准組合員調査の結果【准組合員としての関与】

Q1-1

当JAの事業・活動で利用・参加している、
またはしたことがあるものは何ですか？

<複数回答可>

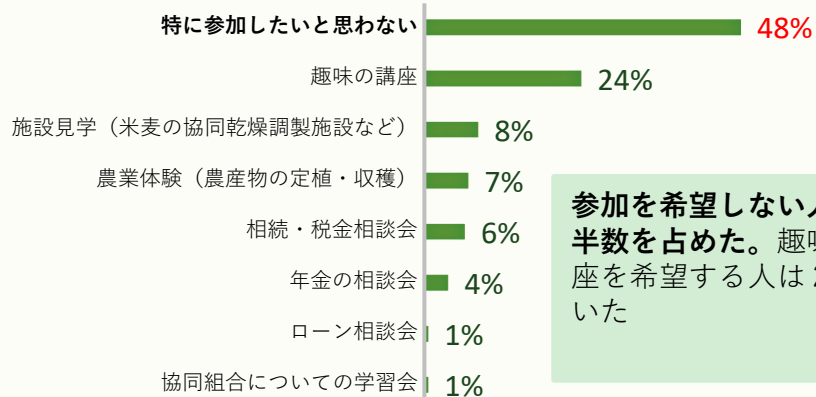


回答者の6割以上が金融
共済事業を利用。経済事
業については、給油所・
車検センターを約半数が、
直売所を3割強が利用。

Q1-3

准組合員を対象としたイベントがあった
場合、参加してみたいものはありますか？

<複数回答可>

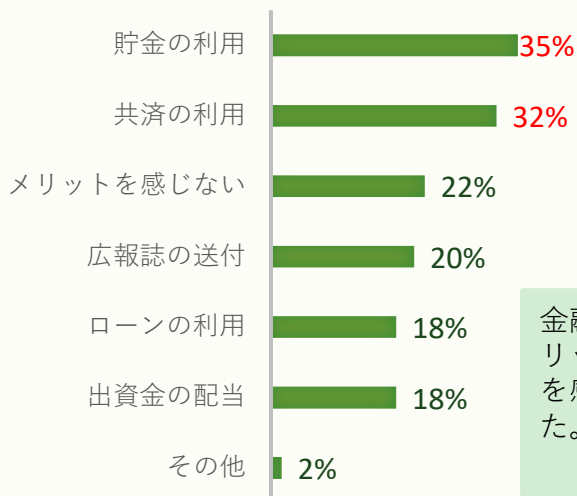


参加を希望しない人が約
半数を占めた。趣味の講
座を希望する人は2割強
いた

Q1-2

当JAの准組合員としてメリットを感じる
点は何ですか？

<複数回答可>



金融共済事業の利用メ
リット3割強、メリット
を感じない人が2割強い
た。

まとめ

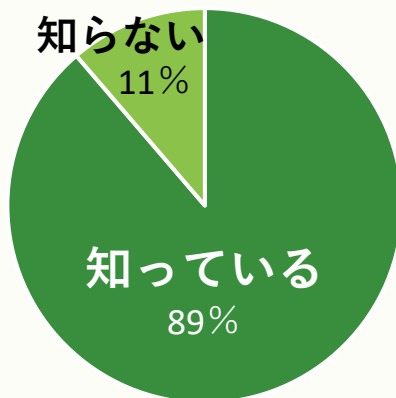
- 准組合員の6割以上が、金融共済事業の利用でJAとつながっている。
- 金融共済事業の利用にメリットを感じる人が3割強いるが、メリットを感じない人が2割強いた。
- 准組合員対象イベントについては、参加を希望しない人が半数を占める一方で、残りの半数はなんらかのイベントに参加したいと回答していた。

准組合員調査の結果【准組合員としての自覚】

Q2-1

ご自身が組合員であることを
知っていますか

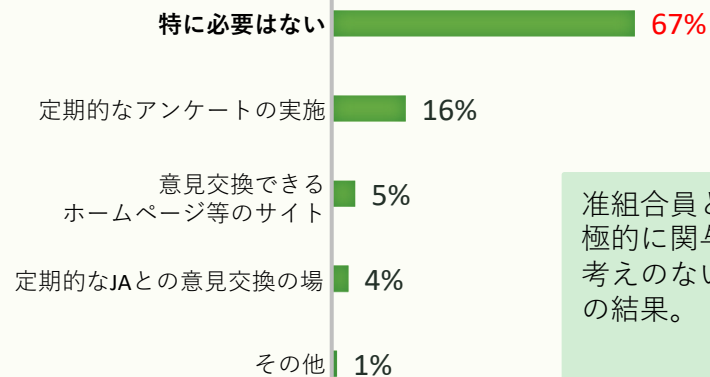
ほとんどの人が知っているが、**1割は知らなかった。**



Q2-3

准組合員の皆さまがお考えやご意見を
示す場の設定をご希望されますか

<複数回答可>

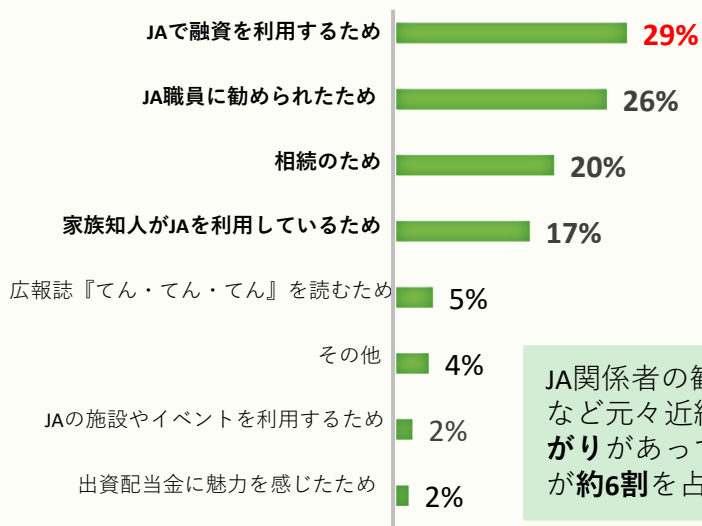


准組合員として、JAに積極的に
関与したいという考えのない人が7割弱との結果。

Q2-2

准組合員に加入された理由を
教えてください

<複数回答可>



JA関係者の勧めや、相続など元々近縁に**JAとつながり**があって加入した人が**約6割**を占めた。

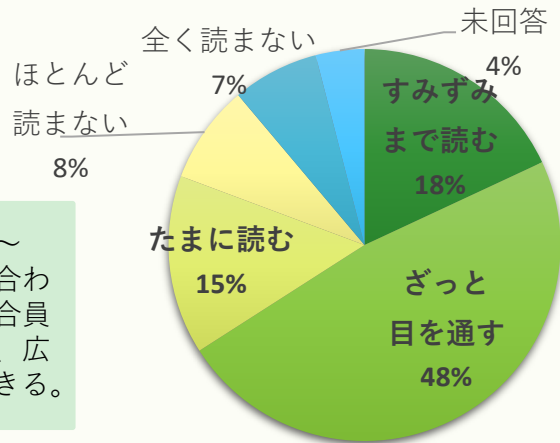
まとめ

- 自身が組合員であることを知らない人が、1割いた
- 加入理由としては、JAとつながりを持つ近縁者がいたという理由が合わせて6割強を占めた。
- 融資利用のため准組合員として組合加入した人は3割弱を占めた。
- 准組合員として、協同組合に積極的に関与したいという人は4人に1人程度。

准組合員調査の結果【広報誌について】

Q3-1

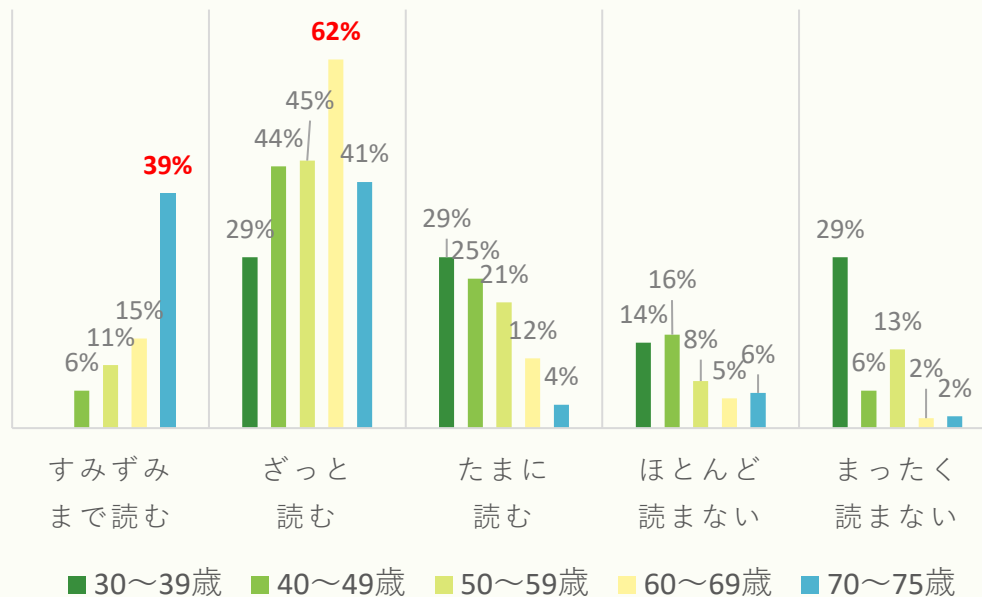
広報誌「てん・てん・てん」の購読状況について教えてください。 <複数回答可>



「すみずみまで読む～ざっと目を通す」を合わせると約7割。准組合員へのアプローチにも、広報誌はさらに活用できる。

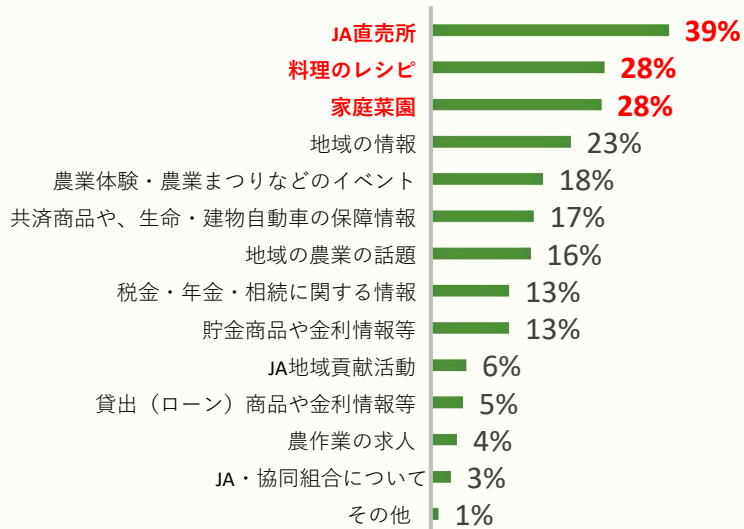
年齢層別購読状況

年齢層毎の購読状況を比較しました。



Q3-2

誌面でJAからのどんな情報提供があると良いですか？ <複数回答可>



まとめ

- 「すみずみまで読む」割合は70～75歳が最も多いが、「ざっと読む」では60～69歳の割合が全体平均を大きく超えた。
- 30～49歳の若年層でも1割強が「すみずみまで読む」、5割近くが「ざっと読む」との結果が出ており、近年強化してきた広報誌の若年層アプローチの効果が出ているのではと感じる。
- 誌面では、直売所情報やレシピ、家庭菜園など、JAに対して「食」に関わる情報発信を期待されている状況が伺える。